

ふるさとチバ

“ふるさとちば”的ための政策推進を◆



田中幸太郎県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

新型コロナワクチン 国は配分見通し提示を

田中委員 今、新型コロナウイルスワクチンの接種体制を強化していると思うが、見合った量のワクチンが来なければどうしようもない。オリンピックを控えているのに、国は何をやっているんだといふのが本音のところ。しかししながら、目標である

田中委員 今、新型コロナウイルスワクチンの接種率向上準備を進めていく必要がある。WHOの最新報告でもワクチンは変種株に対してもウイルスの感染を抑える十分機能したものとする報告が出ている。

田中委員 ワクチン接種率の向上準備を進めていくのは、改めて重要であると考えている。そこでどうかがうが、ワクチン接種率を向上させるため、今後、どのように取り組んでいくのか。

田中委員 現在、優先すべき職種をどのように考え、今後どのように対応していくのか。総務部長 現在、優先すべき職種については、県立学校の教員や児童福祉関係の職員、危機管理担当職員など

6月定例県議会予算委員会



6月定例県議会予算委員会で質問する田中幸太郎委員

(市川市選出、1期)は6月定例県議会予算委員会で質問に立ち、新型コロナワクチンの接種率向上への取り組みを県の担当者に聞きました。また、進化したIT技術を浸透させ、人々の生活をより良いものへと変革させるDX(デジタルトランスフォーメーション)について、県の認識を質問しました。田中県議の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

円滑な接種実施を要望

接種の担い手の確保が課題と考えており、県看護協会や県歯科医師会などに接種の担い手の確保について協力を要請しているところです。今後も、接種の担い手を必ず

要とする市町村と接種の担い手となる医療従事者とのマッチングを進めると、接種率の向上に取り組んでまいります。

教員・児童福祉職員から 県職員の職域接種

田中委員 国には、円滑な接種が続けられるよう、今後のワクチン配分の見通しを速やかに示していただきたい。県でも、体制整備をして準備をお願いしたい。

田中委員の職域接種

を想定しています。

田中委員 今後は、職員の接種希望の確認とともに、国から示されるワクチンの供給時期や量などの状況を踏まえながら、接種に向けたシミュレーションを行ってまいります。

田中委員 国へ円滑なワクチン接種が続けられるよう今後の分配の見通しを速やかに示していただきたいと願いつつ、県でも体制整備及び準備をお願いしたい。

田中幸太郎 プロフィール

○ 経歴 ○

- 1979年 市川市に生まれる
- 日出学園小学校でサッカー部主将
- 東海大附属浦安中・高では野球部
- 東海大学工学部卒
- 明治大学大学院ガバナンス研究科修了
- 不動産会社、警備保障会社勤務
- 2007年 市川市議会議員選挙初当選（3期連続当選）
- 2019年 千葉県議会議員選挙で初当選

○ 現職 ○

- 県議会 県土整備常任委員会副委員長

県政や市川市の
まちづくりに関する
相談をお気軽にどうぞ

田中幸太郎 事務所

TEL 047-701-5525
FAX 047-702-5454



県の施策について質疑と答弁が交わされた6月定例県議会予算委員会

中小企業のデジタル化

DX推進事業に期待

田中委員 世の中はコロナのせいでデジタル技術を使わざるを得なかつた。コロナのせいで何段飛びかでデジタル化が進んだように感じる。行政の体制整備ができる前に、民間企業が環境変化に対応できるよう

出された事業が中小企業DX推進事業であると思う。そこでうかがうが、中小企業がDXを推進するには、どのような課題があると認識しているのか。

産業振興課長 中小企業がDXを進めていくにあたっては、IT人材の不足をはじめとして、様々な課題があるとうかがっております。具体的には、「社内に詳し

つては、IT人材の不足をはじめとして、様々な課題があるとうかがっております。

い人材がない」、「情報が不足している」、「導入の効果がわからない」などの声が寄せられているところでござ

ります。

田中委員 立地企業補助金についてだが、これまでの取り組み状況と実績はどうか。

企業立地課長 県では、セミナーの開催や企業訪問を通じて、補助制度の周知を図りながら、企業誘致に努めてまいりました。

立地企業補助金の交付実績ですが、平成28年度から令和2年度までの直近5年間で、交付件数が107件、交付金額が17億212万6千円となっていました。

田中委員 予算を使う費用対効果について、どのように認識しているのか。

企業立地課長 支援した企業からの事業状況報告によると、直近5年間の約17億円の補助金交付に対し、約1658億円の設備投資と、8756人の雇用創出がありました。

また、中長期的に見て、県税や市町村民税等の増収効果がもたらされるものと

ございまして、これらに留意しながら事業を進めていく必要があると考えております。

産業振興課長 本事業では、経営層の意識改革や、現場の課題を解決できるデジタル人材の育成を支援す

ることとともに、先端技術を有するベンチャー企業と県内企業との交流会を開催するなどとしております。

こうした人材育成や交流会を通じて、中小企業のデジタル化が促進され、新製品やサービスの創出、ビジネスモデルの変革等に資するものと期待しております。

要望 田中委員 近い将来、県内でも避けては通れない課題であると思う。民間企業にとっても、行政のDX推進にも貢献していくだけるような事業を期待する。

継続的な事業改善を目的と手段を見える化し効果的・効率的に

田中委員 予算を投入し、インプットしてアワトブツ、結果が生まれたけれど、なぜそうなったか、私は見えない。風が吹けば

桶屋が儲かる、個々の流れがどうなっているかをしつかりと見える化することが、私が提案したいロジックモデルである。

論理的作戦(ロジックモデル)である。

効果が検証でき、かつ改善運動がしやすくなる。

田中委員 論理的作戦がし手段が見える化され、事業

がかかるとあることで、目的と手段が見える化され、事業

がかかるとあることで、目的と手段が見える化され、事業

がかかるとあることで、目的と手段が見える化され、事業

限りある財源の使用

田中委員 予算編成において、政策評価の結果をどのように活かしているのか。

政策企画課長 県では毎年度、総合計画の政策評価

点検、分析し、事業の見直しや必要な改善を行って、予算編成に反映しています。

また、評価手法について

は、有識者から意見をうかがい、必要な改善を図ってきたところであり、今後も効果的な予算投入をしていただきたい。

企業立地課長 立地企業

がかかるとあることで、目的と手段が見える化され、事業

がかかるとあることで、目的と手段が見える化され、事業

は、有識者から意見をうかがい、必要な改善を図ってきたところであり、今後も効果的な予算投入をしていただきたい。

政策企画課長 総合計画

の政策評価では、これまで

は、有識者から意見をうかがい、必要な改善を図ってきたところであり、今後も効果的な予算投入をしていただきたい。

ルをしっかりと、作戦会を通じて、中小企業のデジタル化が促進され、新製品やサービスの創出、ビジネスモデルの変革等に資するものと期待しております。社会情勢や企業ニーズの変化などを捉えながら、柔軟に見直しを行っています。